



2013-2014年度

Rotary

2013年11月28日発行 Vol. 1375

クラブ運営方針：愛と感謝と奉仕の心

広島北 ロータリークラブ週報

国際ロータリー会長 ロン D. パートン 氏
国際ロータリーテーマ
ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

■会長 庄子 佳良 ■幹事 久保 豊年
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

■本日の例会 2013年11月28日(木) 第2158回
ロータリーソング 「それでこそロータリー」
来客紹介 ローター家族親睦委員会
会長時間
幹事報告
委員会報告等
ニコニコ箱
卓話時間 『カーブの過去・現在・未来』
元広島東洋カーブ投手・野球評論家
外木場 義郎 氏

前回例報告 2013年11月21日(木) 第2157回

ロータリーソング 「われら広島北ロータリー」
来客紹介 ローター家族親睦委員会
祝寿
会長時間
幹事報告
委員会報告
ニコニコ箱
卓話時間 『財団のホットな話』
国際ロータリー第2710地区
バスターガバナー 川妻 二郎 氏

祝寿



今月80才を迎える松本豊彦会員にクラブから記念品を贈りました。
おめでとうございます！

会長時間 会長 庄子 佳良

本日は卓話の時間に、ローター財団に造詣の深い、川妻二郎PGを
お迎えして、「財団のホットな話」という演題でお話を頂きます。
川妻PG、本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

先週14日の夜、ローター情報委員会のお世話で、入会3年未満の会員の皆さんにご参加頂き歓迎会を開催行いました。3年未満の会員の側にローター歴の永い会員の皆さんに座ってもらい、親睦を深めて頂きながらローターについて色々御指導いただけたものと思います。互いに理解しあうことでクラブの絆が深まり、活発な奉仕活動が出来るものと信じております。ローター情報委員会の皆様には、今後ともよろしくお願ひいたします。さて、11月はローター財団月間でございます。卓話の時間に川妻PGにお話をいただきますが、私も重複しないよう財団設立当初のお話をさせていただきます。ローター財団は、正式名称を「国際ローターのローター財団」と申します。1917年6月アトランタ国際大会で、RI6代会長であったアーチC・クラフによって、ローター基金の設立が提唱されました。ローター財団の公式標語は、皆さんもお聞きになったことがあるかと思いますが、「世界で良いことをしよう(Doing Good in the World)」でございます。最初の基金は、カンザスシティRCによる26.5ドルでございます。1928年にローター財団と命名され、資金は5,739ドルでございます。1931年には信託組織となり、1983年イリノイ州の法律に基づいて非営利財団法人となりました。最初のプログラムは18人の大学生へ奨学金を送ったもので、資金は1947年に亡くなったポール・ハリスに対する100万ドルを超える香典が充てられました。日本のローター財団は、2009年6月11日に一般財団法人として設立され、ローター財団への協力を目的としております。2010年12月24日に公益財団法人に組織変更され、2011年7月1日から全ての寄付金について、税額控除、所得控除の選択が可能となるなど優遇措置がつくようになりましたので、しっかりとご協力をいただきたいと思います。財団には、国際財団活動資金(WF=World Fund)と地区財団活動資金(DDF=District Designated Fund)の2種類あり、補助金の種類は、新地区補助金(DDFが最大50%まで地区の裁量で使えるもの=DG(District Grants))やグローバル補助金(GG=Global Grants)、パッケージ・グラント(PGG=Packaged Global Grants)などがございますので覚えておいてください。当クラブでは、新地区補助金(DG)を利用して、社会奉仕事業で「広島いのちの電話」に事務備品を寄贈し、中国新聞にも取り上げていただきました。ローター財団についてお話をさせていただきましたが、ローター財団は全ての活動の原点であることをご理解ください。これで会長時間を終わります。

委員会報告

職業分類会員増強委員会 山下(正)委員長
*11月28日(木)と12月12日(木)「ゲスト見学例会」について
ローター家族親睦委員会 鈴木委員長
*12月19日(木)クリスマス家族会のご案内
創立45周年式典・懇親委員会 神農会員
*例会終了後、委員会開催

ニコニコ箱

ニコニコ委員会

【自主出宝】

庄子会員・泉会員・久保(豊)会員・東会員・越智会員

川妻PG、本日は当クラブにお越し頂き、ありがとうございます。会員一同楽しみにしておりますので、よろしくお祈りします。

中山会員・佐々木会員・迫会員・石田会員・岡部会員 川妻PG、本日の卓話楽しみにしておりました。よろしくお祈り致します。

高原会員 川妻PG様、当クラブ'ようこそ'お出で下さいました。本日の卓話を楽しみにしています。

松本会員★ 先月31日、広島桜が丘高等学校創立50周年記念式典を挙行政せて頂きました。これからも地域に信頼される高校として頑張る所存です。宜しくご支援賜りますようお願い申し上げます。

武部会員◆ 先週は新会員卓話の機会をいただきありがとうございました。せっかく皆様に激励の出宝をして頂いたにもかかわらず、ダダすべりの卓話で申し訳ありませんでした。また本日は仕事の都合で例会を欠席させて頂きます。

松本会員 小生、体調不良が続き例会出席もままならず欠席致しましたが、幸い快方に向かいつつあります。例会を楽しみにしております。

岡部会員 私のユニフォームを着たニセOKB小林選手が福岡ドームで大暴れしたそうです。ユニフォームのお陰だと思えます。来年は負けられないように頑張ります。

小林会員 岡部さん、ユニフォーム貸して頂いてありがとうございました。お陰様でデビュー戦にて初ヒットを打つことが出来ました。

佐藤会員 山内さん、増田さん、栗屋さんこの度は寝坊してしまい大変申し訳ございませんでした。

久保(豊)会員 かなり増えてきました。男たちの美容外科と小林さんに感謝です。

佐藤会員 先日は妻の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。本人も大変喜んでおりました。

久保(豊)会員・中山会員・神農会員・小林会員・武部会員 11月19日福岡ドームにて親善野球をしました。

当日計 31,000 円(内、web3,000 円) 累計 847,200 円

★=10,000 円 ☆=5,000 円 ◆=3,000 円 ◇=2,000 円

卓話

『財団のホットな話』

国際ロータリー第2710地区

パストガバナー 川妻 二郎 氏



皆さんこんにちは。

今日は三つに分けて、1番目は平和フォーラムで大変お世話になったそのお礼と、そこから私が得たものは何かということ、2番目は今ロータリー財団について、地区のなかでも少し混乱が出て

るので、その辺のまとめをちょっとしておきたいということ、3番目は最近非常に新しいクラブに私は接触を始めて、ボケ防止をやらせよう、若い空気を取り入れようと思ってやっているのですが、そのお話をご紹介しておこうと思っています。

平和フォーラムでは大変お世話になりました。会場の SAA というけども結局見回りとか、あとを回収するとか、いろんなことをやっていただいて、見事にお仕事をやっていただいたことに大変厚く御礼申し上げます。

平和フォーラムでは、国旗も出さず、君が代も歌わず、これはもう早くからそれを決めて、ICU かどこかで話した時に、国旗入場を止め、国歌を歌わない、それから偉い人の紹介を長々とするのはやめるぞと言ったら、大拍手が出たので、これはいけると思ってやってきたのです。様々な新しいことを取り入れてやらせて頂き

ました。お陰を持ちまして、大変いい評判が得られた会合ができたと思っています。皆さんのお助けがあったからできたと感じております。

そのなかで私が特に感じたのは、平和フォーラムに出て海外の人、特にエバンストンのロータリー職員なんかと会って話をしていると、国の概念がないです、ロータリーの中では。だからエバンストンにいる人に、あなたのお国はどちらですかと聞いたら、私はエバンストン在住のロータリー職員ですという言い方をするのは、アメリカ在住の職員ですというだけで、国の名前を絶対に言わないです。なんでも言わないのかだけでも、いろいろ聞いてみると、ロータリアンになろうと思って入会申込書を書くときに、国籍を書くところがないじゃないかと。まさにそうです。国籍を書く欄がないのです、海外に行っても。それぐらい国の概念が、非常に乏しくしてあるといつてもいいかも知れません。

私はポルビアとうちの地区としていろんな付き合いがありましたから、そこに日本人で長く生活しているという人がいて、日本語でいろんなやりとりができたから、いろんなことがわかってきたのですが、ポルビアの国では1地区しかないのです。1地区というのは、その地区人員が1,000名を割ると、もう消滅してどこかへ吸収されてしまうというルールがあるわけです。日本の国内でも東北に行くと、もう1,000名ぎりぎり頑張っているところがありますが、なかなか1,000名を切らないのは、1,000名を切ったら大変だという意識が強いから、そうなんです。

ポルビアもまさにそうで、1,000名を切るぐらいまできたら、今度は会員がものすごく発奮して、そしてなんとかもうちょっと頑張ろうということで会員増強をやって、たまたま景気がよくてポルビアの首都にいろんなビルが建ち始める、そのなかでどんどんまた増えていって、2地区にはまだなっていないんですけども、大変増えた。もし1,000名を割っていたらどうなったかというのが、プランがあって、その1,000名の会員を四つの地域に分けて、それぞれの周辺国に渡されると。だから、やっぱり国の概念がないと思います。そんなことを平気でやるわけです。ロータリーに国境がないことを国連の人は羨ましがります。

日本の国内でも、例えば福岡県というのは福岡県全県1区だけでも、実は長崎の壱岐対馬は福岡の地区に入っています。だから、飛んでしまっているわけです。それはなぜかという、壱岐対馬の、日本の本土との往復の船の回数が一番多いのは博多港ですから。そういう便宜を図って福岡の地区のなかに入ってしまう、そんなことをやっているの、国境がないとみておいたほうがいいと思います。

そういう意味では、私は山口県と広島県の県境もなくしたらどうかということも、今、言い始めているのです。あまりにも山口、広島で固まってしまっているから、あの辺は県境をなくしてしまったほうがいいんじゃないかということを言っているんですけど、それに反対する人もいるから、そう簡単にはいかないと思いますけど、そういうことを考えています。

平和フォーラムをやった私がよかったと思うのは、最初にワークショップ、これは若い人を中心に並べて、周りを大人が囲む格好の五つの教室をつかって、平和に関する切り口が経済的な側面とか政治的な側面とか、その側面を五つに分けたもので、全然違った内容のことを五つ、平行に進めていくということでやったわけです。これが当初2時間の予定時間を取ってやっていたんですけども、中身が、明日、明後日やるRYLAと大変よく似ていて、主催者がコーディネーターを決めて、そのコーディネーターがテーマを言って、そして若い人をグループ分けにして、グループごとに討論してもらって、それをまとめていくというのがライラのやり方です。

ところがRYLAの場合は土曜日のお昼から始まって、日曜の昼までかかってやる、非常に長丁場です。見ていると、RYLAでエンジーンがかかる時期はいつ頃かという、夕飯を食べた後なのです。

それをぐっと縮めたのが2時間のワークショップなのですけど、この2時間のワークショップのなかで非常に難しいのは、コーディネーターが上手にリードをしていかないと、若い人が討論をして盛り上がったところで、はい、ここで時間終わりということになってしまうことが怖い。

ところが、実はRIの本部関係の人が、川妻は自分たちの言うことを聞かないと言って、もう前々からだいたい盛んに言われていたのですが、終わりごろになって本部の偉い人を入れろと、最初の挨拶にこういう人を入れろということで入ってきて、そこは今まで頑強に断っていたのです。断りきれなくなって、そのしわ寄せが、あそこの2時間の中の15分を削ったのです。

その15分を削ったのが、私はひょっとしたら失敗のもとになったかなと思って、おどおどしながらずっと会場を見ていたのですが、それを見事にこなしてくれたのが、外部リソースの人に入ってもらったからです。外部のリソース、要するに平和学を勉強している5人の学者を一つずつの教室に入れて、その人たちに任せるのじゃなくて、ローターと一緒に、コンパインして進めていく。時間を15分縮めたことも、その人たちも十分に承知して、速度を上げながら進めていくことをやる。見事に1時間45分のなかに埋めてくれたわけです。

私はその2時間のなかに、2回ぐらい会場を回ってずっと見ていたのですが、周りを取り巻く大人たちの目がらんらんとしているところすがすごかったし、それから若い人たちが非常に盛んに発言した。一つには海外から来た人たちは非常に発言が多いですから、それにつられたということもあるのでしょうか、今まで私は40年ローターにいるけど、あんなに熱が上がったことを若い人がやってくれたのは、初めてのケースですから。

私はぐるぐると回って廊下へ出たら、3人のロータリアンに囲まれて、川妻さん、今までできなかったことができたじゃないの、これを今度は地区レベルに落としてやってほしいよ、川妻さん頼むよ、と言ったから、いやいや私も年だからね、この成功を見たあなたの方が自ら企画してやってください、そうしたら私はサポートしますよということ言ったのですが、まだできていませんけども。

現在のガバナー年度はもうすでに走っていますから、なかなか途中からいろんなものを入れるのは難しいのですけども、その次の年度、2014～2015年の年度は、9月1日からGETSが始まってそこからスタートですから、GETSに乗り込んでいって私にしゃべらせろと言ったのですが、もうぎっしりいっぱい埋まっていて入らない。そのときに理事の北さんが、川妻さんの思いを私の最初の理事挨拶の中に織り込んでやるから、原稿を出してくださいということでやった。見事にそれをやってもらいました。だから、次の年度はまたいろんなことが出てくるのじゃないかと、そういう期待を込めて見ているわけです。

平和フォーラムをやったよかったです。今までに出来なかったことができた。例えば外部リソースを使えというのは、私は25年前に広島でやった平和会議のときも、RIから外部のリソースを使えと言われたのを、そのときはいろんな事情があって断りながらやったのですけども、今回はやっぱり外部リソースを使ってよかったということ、つくづく感じます。それは財団のなかでも、今、夢計画をやっているなかで一番それを厳しく言われるのは、VTTです。VTTは前のGSEを引き継いだというけど、中身はがらっと違って、まさに職業の訓練のことをやるのです。そのVTTで海外と結んでやるときに、やっぱり優秀な技術者を入れて、金を払ってでも入れて、それをやる、これがやっぱり成功の秘訣(ひけつ)。ロータリアンだけでやろうと思うとなかなかそこまで届かないものを、優秀な技術者を入れていくことによって成功する、それがコツだということ、名古屋の経験者から聞いた次第です。

今、夢計画の、われわれはノンパイロット地区ですから、第1年目を走り始めて、ほぼ全体が見えてきたわけですが、その問題点というのはやっぱり、グローバルファンドも、もういくつか出始めていま

すけども、地区補助金がなかなかスムーズに消化されなかった。だから、ガバナーが考えていたよりも、申請を出すことができた数が少なかった。そこでガバナーが焦っているんことを、今、言っているわけですが、最終的に多少混乱しかけているところを、どうまとめていくかということになるわけです。

ローター研究会が12月の2日、3日に東京で開かれますし、その前の12月1日に地域財団セミナーが、同じく東京で開かれる。ローター研究会というのは結論を出す会合ではありませんから、それはいいとして、地域財団セミナーではいろんな説明とか質問が出たら、それに全部答えて結論を出していかなくやいかん。今、その質問を出すところを、私もちょっと割り込んで入って、いろんな打ち合わせをしているのですが、まともはこんな格好になる。非常に簡単なのです。

地区補助金というのは、比較的使いやすいかたちで、金額も少ないけれども、手続きも比較的簡単につくられている。いってみれば日本のロータリアンで、特に小さなクラブほど、なんとか地区補助金に乗っかってやろうということをしているのですが、問題は、地区補助金として対象と認められるものはなんであるかということが、明確にわかっていない。その辺の整理を、今やりかけて、こんなかたちになると思います。

地区補助金について疑問が出ているのは、こういう音楽会ならOKになるのですか、こういう野球チームの会合になんか賞品を出したら、それがOKになりますかという質問がいろいろ出ているのですが、そういう切り口で判断するのではない。切り口は、『人道的なプログラム』になっているかどうか、もうこの一点なのです。だから、目的が『人道的』であれば、なんでもできるというかたちになっているのです。だから、各クラブで申請を出すときに、自分たちのプログラムは人道的というかがみに合わせて、その切り口でやっぱり自分で審査して、やるということが一番大事なことです。

財団のニーズというのは、六つの重点分野なんかに出ていますけども、地球規模で決めています。地球規模で困っている問題は、どうい問題かどうか、かき集めてやっているわけですから、日本の国内だけで考えているニーズとは、もうはるかに違うかたちになる。当然、非常に貧困な国なんかに問題が集中してくる。そこへプログラムは集中してくるわけですけども、決して日本の国内だから駄目よということはないのです。人道的でないようなものがあれば、日本の国内といえども、それは申請を出せる。

例えば、児童福祉の面でやっていて、だいたいこれでうまく収まりそうだからといって家庭へ返すと、途端に親の虐待が始まる。最後には死亡に至るようなひどい状態になる。まさに非人道的な立場、こういうものを対象とすれば、それはプログラムとして成立する。そんな説明を、たぶん今度の地域財団セミナーの最後の場面でやってくれるであろうということを、期待してやっています。そういう結論が出れば、あまり難しいことを言わずに、なんとかできるのじゃないかというふうにするわけです。

2710地区の財団委員会というのは、3年ちょっとかけてつくりあげた委員会です。今まではガバナーが毎年財団委員会の委員を決めたりしてやってきたわけでも、こういうかたちでは未来の夢計画に対応できないと、少し本格的な委員会をつくらうということで、最初は募集型にしたのですが、あまり手を挙げる人がいないから、まあ一本釣りがかなり多いのですけども、今、十何名が集まっています。これがみんな数年間、その委員会に所属することを条件にやってもらっている。

でも、なかなか優秀です。しかも、その委員会構成は、事務局は入らないでやる。だから、自分たちだけの勉強でやる。だから、勉強のしかたとか、あるいは議事録の取り方で新しく開発して、よく委員会で十何名が会議をやると、誰それさん、議事録をつくってくださいと言うと、それをもち帰って、それが気になってほかの仕事ができないということがよくあるじゃないですか。それを、会議のなかの時間に織り込んでしまおう。

クラブ運営方針：愛と感謝と奉仕の心

だから、会議の先に議事録の署名人を先に決めておいて、最後の1割なら1割の時間を、議事録を作成、確認して、それで終わりにするというものをつくりあげている。そうすると、会議が終わった途端にもう議事録が完成しているからいいと、そういうことも工夫しながら、新しい委員会のやり方をやってみているわけです。

だから、皆さんは元気にやっていますし、全国的にもパイロット地区に続くパイロット地区としては、トップクラスに入っているという評価が出るようなレベルまでできていますので、ぜひそういう意味では、ご希望があれば委員会に参加して頂いてということをお願いしたいと思います。

それから今、私が興味を持っているのは、新しいクラブとちょっと接触して見ていると、新しいというのは、創立3年のクラブ。それから、創立1年目のクラブ。この二つのクラブは、平和フォーラムのランチョンミーティングという、昼飯を食べながらやるプログラムのなかで活躍して、非常にいい成績を上げました。あれは海外ともSkypeを繋げてやったりしています。今、非常に評価が高く注目を浴びているところですが、たぶんやっぱり世界的にもだんだん有名になってくると思います。

この二つのクラブを見ていると、ちょうど私が広島でロータリーに入れたいただいた時代のロータリー、非常に真面目な姿勢で、その代わり入会審査はものすごく厳重で、それからクラブに入れてもらったら、おい川妻、今度国際会議があるからついてこい、というふうなボスがいて、そうやって引っ張っていくような、そういうクラブなのです。その片鱗が、今の若い二つのクラブのなかにちょろちょろ見えています。基本に大変忠実にやっていると、手抜きをしないというかたちでやっているので、これは将来非常に面白いかたちになってくるんじゃないかと。

親クラブは、今創立3年です。その子クラブは、今創立1年目で、これはインターネットを使ったEクラブです。このEクラブがおそらく日本でも、あるいは世界的にも大変有名になりつつあるので、私はどちらかというと自分のホケ防止のために、Eクラブへログインしてメークアップをする。このログインがなかなかうまくいかなくて、私のIT技術が低いから、ちょっとしたタッチの差でなかなかうまくログインができない。それを助けてくれたのが、会長が香港在住なのです。香港在住が、川妻さん、あなたはLINEに加入してください、そうすると無料で電話ができるから、あなたのパソコンのなかへ入って教えてあげますよ、本当にパソコンのなかへ入ってまで教えてくれる。そんなかたちでログインがだいぶできるようになって、なおかつ今までにつくられたログインを、私の要求に従ってものすごく簡略化して、みんなが入りやすいようなものをつくと、そんな努力もしてくれて、やっています。

私はなんでそういうことに挑戦しているかという、将来足腰が立たなくなるとロータリーに出るときに、このクラブなら寝床のなかへ入ってメークアップできるぞと思って、それは発表しませんけど、そういうことができるわけです。もう車いすを押してくれる家内はいないし、そうすると足腰が立たなかったら、今のパソコン時代は置いておいて本当にできるわけですから、そういうことを今ちょっと勉強しておこうかと思って、やってみている。

ものすごく活発なクラブです。それから、内容も豊富です。クラブの会長時間というのは、普通リアルクラブでは、われわれのクラブだったら5分ぐらいです、1回しゃべるのに。ここでは20分とか、25分ぐらいしゃべりますから。それになんかをひっつけると、例会時間のなかには、ぱーっとみんながしゃべって、食事はないし、みんなはインターネットでつながっているだけですから、非常に内容豊富な例会ができる。今、広島の地区からもメークアップに来ている人がいます。こいつ広島だなというのがわかります、名前とクラブ名だけは出していますから。私もそういうふうに見られているかもわからんけども。

私はそこへ、私がこうやってメークアップをたびたびする目的をちゃんと書いているのです。一つは、あなた方のクラブは日常的に民

間外交をやっているから。それは、現地にみんなはいるわけですから。そういうことに敬意を払ってメークアップをしますよということ。2番目には、やっぱり新しいクラブ、なおかつEクラブだとか、あるいはリアルクラブでも3年ぐらいで活躍できるというのは、何が原動力でそれができたかということ、ちょっと研究してみたいと。なかなかいるんなら聞くのだけど、まだまだ半分ぐらいしかわかっていません。何かやっぱり違ったものがある、これが新しい時代の、ひょっとしたら新しい生き方のクラブになるんじゃないかなということを見て、やっているわけです。

今年の12月にロータリー研究会がありますが、たぶん例年のロータリー研究会よりは、少し活発な私たちのロータリー研究会になってくると思います。これからの日本におけるロータリークラブがいかにあるべきかということ、論じる場になるだろうと思います。そこで求められているのは、ロータリーというのは、とかくどこを切っても金太郎あめで、みんなクラブが似たようなことばかりをやっていると。そこから少し脱却しようと、多様化の方向へ向かうというのが、新しい方向だと思います。

今日、私は例会の時間中、いろいろお話を聞いていて、ここのクラブもそういう新しいことを狙ってやっているなどということを感じました。そうやって今までのリアルクラブが、今までのロータリーの決まったようなかたちを少し脱却して、新しいことをやり始める、そういうクラブがあちこちにそろそろ出始める。これがこれからの日本のロータリーの、底上げにつながっていくのだろうというふうな思っている次第です。

雑ばくな話で申し訳ありませんけれども、私の最近考えていることとお話した次第です。ありがとうございました。



■出席報告 出席委員会

2013年11月21日(木) 会員数 85名

出席 72名 欠席 13名 来賓 1名

10月24日例会出席率 100%

10月度平均出席率 100%

■来客紹介 ロータリー家族親睦委員会

川妻 二郎 様(卓話者・広島南RC所属)

■次回例会 2013年12月5日(木)12:30～

卓話「年次総会」

(次年度理事役員選出)

食事 和食

『夜間例会&クリスマス家族会』

開催日時:2013年12月19日(木)18時～

開催場所:ホテルグランヴィア広島4F

回答期日:12月2日(月)必着

※準備の都合上、期日までに必ず回答ハガキの返信をお願い致します。